



NISHI EYE HOSPITAL

西眼科だより 第16巻1号

(季刊誌)

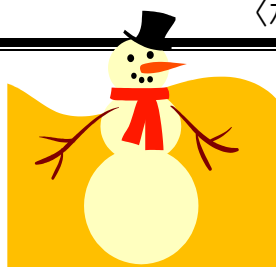
2014年2月発行

編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉 <http://www.nishi-ganka.or.jp>



最新の老視治療

フェムトセカンドレーザー白内障手術

白内障のある方に最新のフェムトセカンドレーザー白内障手術を導入しています。水晶体囊の前面を真円に切除する事が可能で、眼内レンズを水晶体囊の中心に移植でき、レンズの偏位や傾きを最小限にする事ができます。水晶体の分割も可能で、超音波乳化のエネルギーを大幅に低減する事ができ、眼の負担が少ない方法です。より質の高い良好な視機能が得られます。日本では厚生労働省にまだ承認されておきませんので「自費診療」となります。

プレミアムレンズ《老視矯正眼内レンズ》

白内障のある方には、現在、次のような眼内レンズを使用して「老視治療」を行っています。当院では、通常の「単焦点眼内レンズ」か「多焦点(2重焦点)眼内レンズ」または「多焦点(3重焦点)眼内レンズ」を選択していただく事ができます。

★多焦点(3重焦点)眼内レンズ tmlOL

現在ヨーロッパでは主流になりつつあるレンズです。遠近両用(2重焦点)の眼内レンズを更に進化させ、中間距離(50cm~1m程の距離)にもピントが合う3重焦点眼内レンズを導入しています。非常に良好な視機能が得られています。日本では先進医療として厚生労働省にまだ承認されておきませんので術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む)3重焦点眼内レンズに関わる治療代は全て「自費診療」となります。

★多焦点(2重焦点)眼内レンズ mlOL

近くにも遠くにもピントが合う2重焦点(遠近両用)の眼内レンズです。当院で行う「多焦点(2重焦点)眼内レンズを用いた白内障手術」は「先進医療」と

して厚生労働省に承認されています。通常の単焦点眼内レンズと比べ、白内障手術後の生活におけるメガネの必要性が大きく減少します。多焦点眼内レンズの事をもっと知りたい方は当院スタッフまでお尋ねください。適応・費用・生命保険適応の点も含め、ご説明致します(DVD鑑賞(約10分)有)。

★追加挿入型 多焦点(遠近両用)眼内レンズ Add-On

既に白内障手術を受けられ、従来の単焦点眼内レンズを挿入されている方に更にもう1枚 多焦点(2重焦点)眼内レンズ Add-On(ドイツ製)を追加挿入し遠方近方両方に焦点が合うようにすることができます。3重焦点眼内レンズと同様に、日本では先進医療として厚生労働省にまだ承認されておられませんので Add-On に関わる治療代は全て「自費診療」となります。

屈折矯正手術のいろいろ



有水晶体眼内レンズ(Phakic IOL)

白内障手術を応用した手術で、水晶体をそのまま残し眼内レンズを挿入して矯正します。LASIKでは矯正できない「高度近視」や「角膜の薄い方」に効果的です。

LASIK・Epi-LASIK・LASEK・PRK

エキシマレーザーによる「近視」・「遠視」・「乱視」を矯正する手術です。

タッチアップ

エキシマレーザーによる「白内障術後の屈折力の差」を改善する手術です。

PTK

エキシマレーザーによる「角膜変性症」・「帯状角膜変性」を治療する手術です。当院では保険が適応されます。

クロスリンクング(CXL)

角膜の実質の強度を高め、「円錐角膜」・「角膜拡張症」の進行を抑えることを目的とし、コンタクトレンズの装用も可能にするレーザー治療です。

毎月 **〈LASIK 無料説明会〉** 開催中！

ご興味のある方は、ご家族・ご友人をお誘いのうえご参加ください。

3月1日(土)・4月5日(土)・5月10日(土)・6月7日(土)

《午前11:00～(1時間程) 西眼科病院1F 飲み物(ドリンク)コーナーにて》